

いの流水俳壇

間 浩太選

「当季雑詠」

今月の俳句会は、楳本神社へ献句の俳句大会を実施したものであり、その中、当季の句を選んだものです。

石礫仁淀の水の面切りて秋

大川 節弥

（評）日本一の清流と言われる仁淀川、秋になると水も澄み風も穏やかとなり波もなく、川幅の広い河岸に来ると、誰でも平たい小石を拾って水切りをしたくなるものである。

子どもころは石を投げて遊んだもので、郷愁を感じる遊びでもある。「水切り」の大会を実施した話も聞いたことがある。

この句は、楳本神社への献句俳句大会で、一位の得点をした句で、多くの人が共感をした句です。秋の仁淀川を詠んだ佳句と思います。

秋澄めり典具帖紙を土産とす

井上 郁子

（評）秋、日本の近くを低気圧が過ぎたあと、大陸方面から移動性高気圧がやって来る。

上空の「ゴミ」の少ない空気が降りてきて空気が澄むのである。空気が澄んでいるから物はみな、はっきりと見え月も星もよく見え、木の葉のそよぎ、虫の声なども澄みあらゆる物の音もはっきり聞こえる。

秋に関連した多くの季語があるが、「秋澄む」は最も秋の特色を表した季語である。

典具帖紙は町の人は「人間国宝」ともによく知っている町の特産品であり、ちぎり絵の材料、高級品の包み紙などに使われる。

この句の作者も、ちぎり絵用として、また大阪に在住の子どもさん（芸大を卒業して芸術家）の土産として、紙の博物館で購入したときの句で、澄んだ秋の気配と、ごく薄く様々な美しい色で染めた典具帖紙の取り合わせが良い句と思います。

風に乗り風に乗りかへ赤とんぼ

岡本とも子

（評）日本の秋の風物として取り上げられる赤蜻蛉はいろいろな種類があり、その名のように体は赤い色をしているが、赤いのはふつう雄だけで、未熟な雄や雌は黄褐色をしている。広い芒の原に群れをなして飛んでいた、道の石の上や、秋草の穂にじつと止まっている小さな赤蜻蛉を見ると、しみじみと秋を感じさせる。蜻蛉の俳句は蝉とともに非常に多く、日本人に愛された昆虫である。

この句の「風に乗りかへ」と詠んだのに感心しました。

風に乗ったように飛んでいます、ひよいと方向転換して飛ぶのは、風を乗り変えたように見えます。よく見て詠んでいます。

木洩れ日の風さわやかに虚子の句碑

友草 良雄

（評）木立の中、木洩れ日を受けながら「紙を漉く女もかざす珊瑚かな」の高浜虚子の句碑がある。虚子が伊野町（当時）

に来たときに詠んだ句といわれている。紙漉の盛んな伊野町と珊瑚の多くとれる土佐への挨拶句か？ 紙漉の伊野が知られていた証ともいえる。

さわやかとは、さっぱりとして快いこと、気分が晴れ晴れしいことである。「さわやか」を秋気清く澄明で快適な季節を示す語として秋の季語になっっている。

響爽かいただきましたといふ言葉の有名な句がある。

椿の実鳥を拒みし日もありぬ

植田 紀子

ひとり降り風と乗る 秋秋桜

宇賀 佳世

青い目の本格姿秋遍路

岡村 嘉夫

雨音のいつしか変わり虫しぐれ

小野川 町子

雨後の水澄みて豊かに仁淀川

片岡 包女

パンコンもスマホも苦手風の秋

鎌倉 隆一

もみ殻にまだ火は入れず紙の町

川谷 節子

海鼠壁純きひかりや秋時雨

佐々 誠也

風は秋振り向きざまに微笑めば

島村 かりん

天国へ一直線の曼珠沙華

竹崎 たかひろ

過ぎし日の紫苑の好きな友徳ぶ

田 篤恵美子

貌出して世間見ている秋の鯉

谷 三喜

秋深しサラダに今日の風混せて

信清 澄恵

ただ暑し俳句回路のスイッチとぶ

間 浩太

今月のことも川柳

満月の 光まぶしき 秋の夜

川内小5年 山本 大樹
（評）満月の光に心を寄せる小学5年生、四季の移り変わりの中で育てられる豊かな感性、うれしいこと、大切にしたいです。

折りづるよ 思いをせて とんでゆけ
川内小6年 野口 朱莉
（評）折りづるに込める思いは、やさしい心でしょう。朱莉さんのやさしい気持ちにはきつと届けてくれると信じています。

赤とんぼ 田に飛びまわる 天使かな
川内小5年 池田 智貴
（評）秋風そよぐ田園風景がさわやかに伝わる。群れて飛ぶ赤とんぼを天使と詠む子どもの純粋さに心打たれる。

かきのたね さるかに合戦 思いだし
川内小5年 手塚 涼太
ひまわりは いつも笑顔で たのしそう
川内小6年 金田 莉音
風がふき ちやちやゆるれる すすきたち
川内小5年 片岡 日南
ママとねる おんなじやで ねんねする
川内小4年 高宮 莉奈
夏おわり 木の葉の色も 秋色に
川内小5年 矢野 花音
鳥の葉の 中よりひなの さえずりや
川内小5年 森岡 翔太
秋の虫 たまにリーンと 声かする
川内小4年 市川 幸輝

※「こども川柳」は町内全小学校の児童の皆さんを対象に募集しています。次回提出締め切りは11月20日（火）です。たくさんの方の皆さんの応募をお待ちしています。（応募は各小学校を通じてお願いします）
※選評は、川柳連会の皆さんにお願ひしています。